

MTF

Time Navigator

ユーザーマニュアル

Standard Edition | Version 1.0

複数のMT5チャート間で、時間移動と検証を効率化するための実用ガイドです。

インストール

使用前にインジケータをインストールしてください。

使用前の準備

MTF Time Navigatorを使用する前に、MetaTrader 5へインジケータをインストールしてください。

基本手順

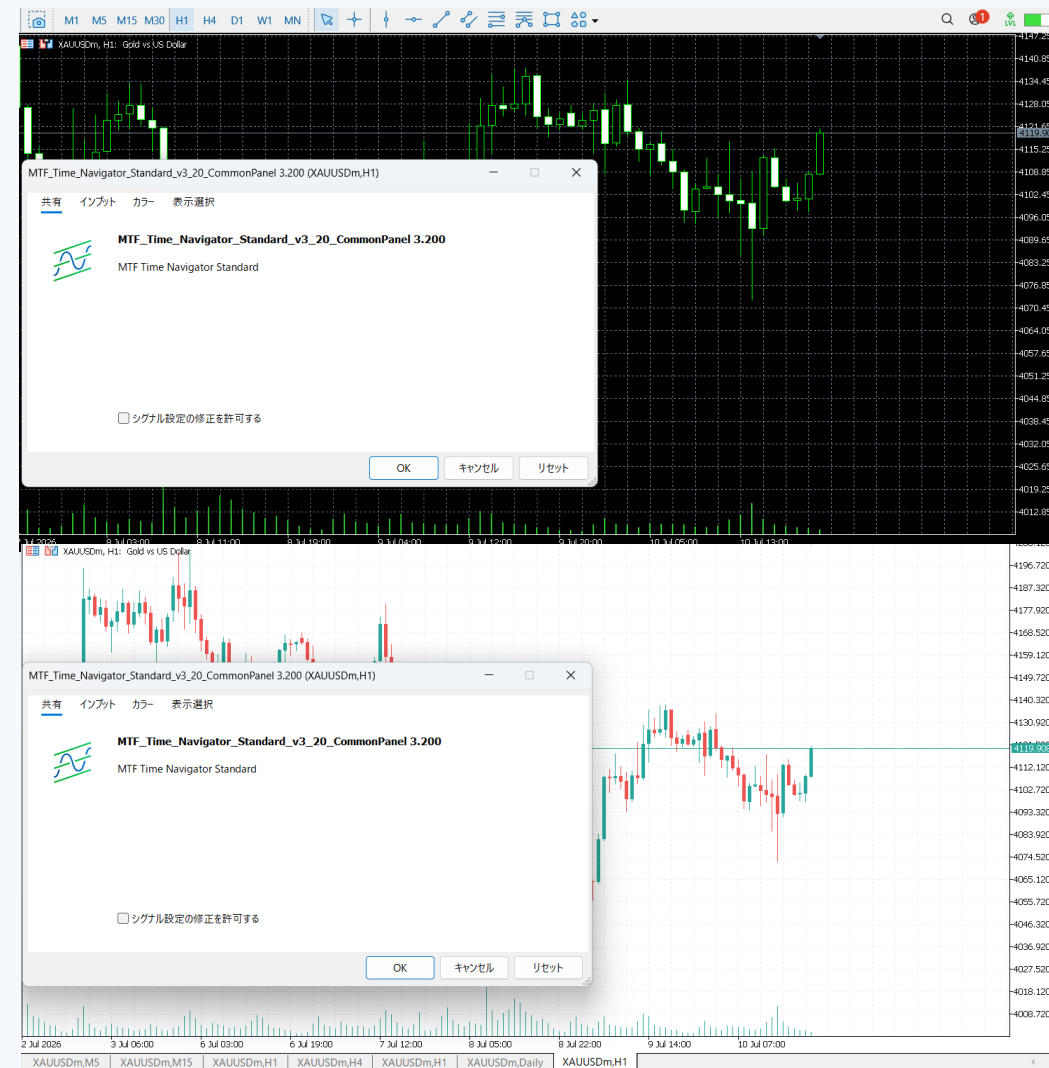
1. MetaTrader 5を起動します。
2. インジケータをインストールします。
3. チャートへ適用します。

ワンポイント

Navigatorウィンドウからインジケータをチャートヘドラッグ&ドロップしてもインストールできます。

インジケータが見つからない場合

Indicatorsフォルダに保存されているか確認してください。別のフォルダに保存されている場合は、Indicatorsフォルダへ移動すると見つけやすく、管理もしやすくなります。



クイックスタート

複数チャート間の時間移動をすぐに始めましょう。

MTF Time Navigatorは、複数のチャート間で時間を素早く、簡単に移動できるよう設計されています。

Step 1 — MARKをクリック

MARKをクリックして、同期マークの配置を開始します。

パネル操作のヒント
パネルを移動するには、パネル上部をドラッグしてください。

Step 2 — 最初の同期マークを配置

MARKをクリックした後、いつも通りMetaTrader 5の垂直線ツールを選択し、同期マークを配置したい場所へ垂直線を引いてください。

Step 3 — 同期垂直線を動かす

垂直線が同期マークとして配置されると、すべてのチャートが同じ時間へ自動的に移動します。その後、その垂直線をドラッグすると、他の時間足の同期垂直線も同じように移動します。

Step 4 — 任意の日付へ移動

確認したい日時を入力してGOをクリックしてください。すべての同期チャートが、その日時へ瞬時に移動します。

Step 5 — 最新のマーケットデータへ戻る

TODAYをクリックすると、すべての同期チャートが利用可能な最新のマーケットデータへ戻ります。



補足

GOは、選択した日付の00:00（午前0時）へ移動します。市場が休場中の場合、TODAYはブローカーが提供している最後のマーケットデータへ移動します。

MARK ONCE. SYNC EVERY TIMEFRAME.

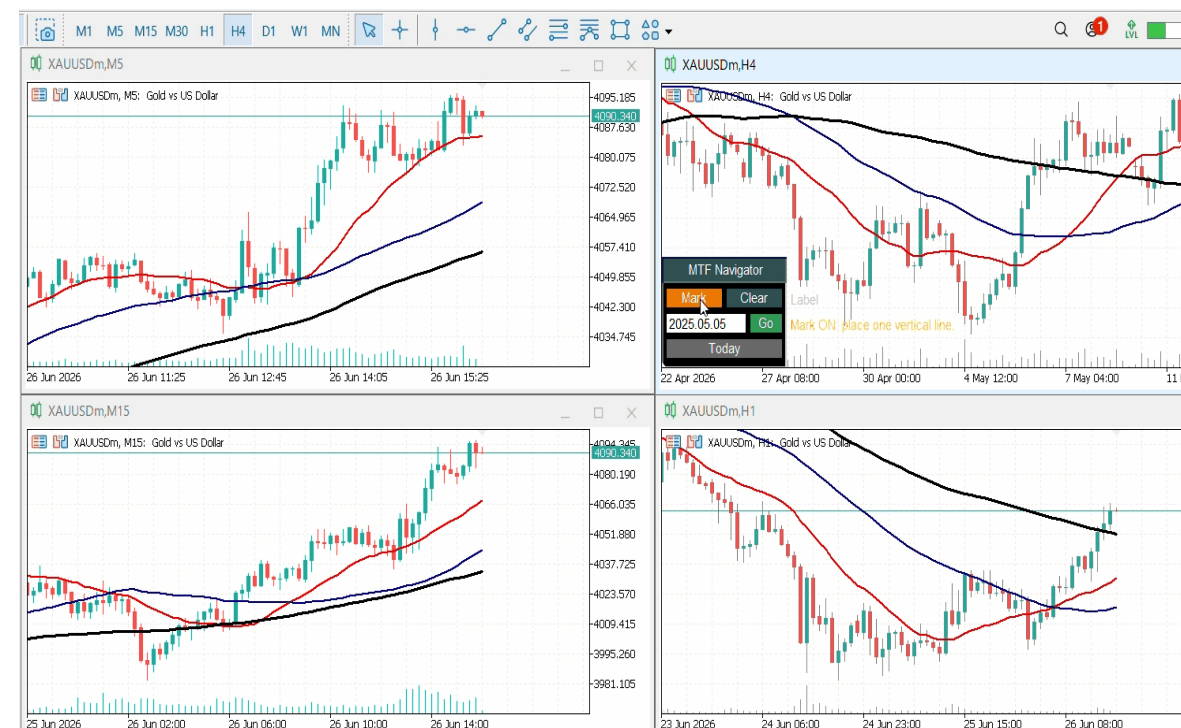
一度マークするだけで、すべての時間足で同じポイントをすぐに確認できます。

使い方

1. MARKをクリックします。
2. 垂直線ツールを選択します。
3. チャートを同期したい場所へ垂直線を引きます。

ポイント

同期垂直線は後からいつでもドラッグできます。すべての同期チャートが自動的に追従します。



NO NEED TO SEARCH.

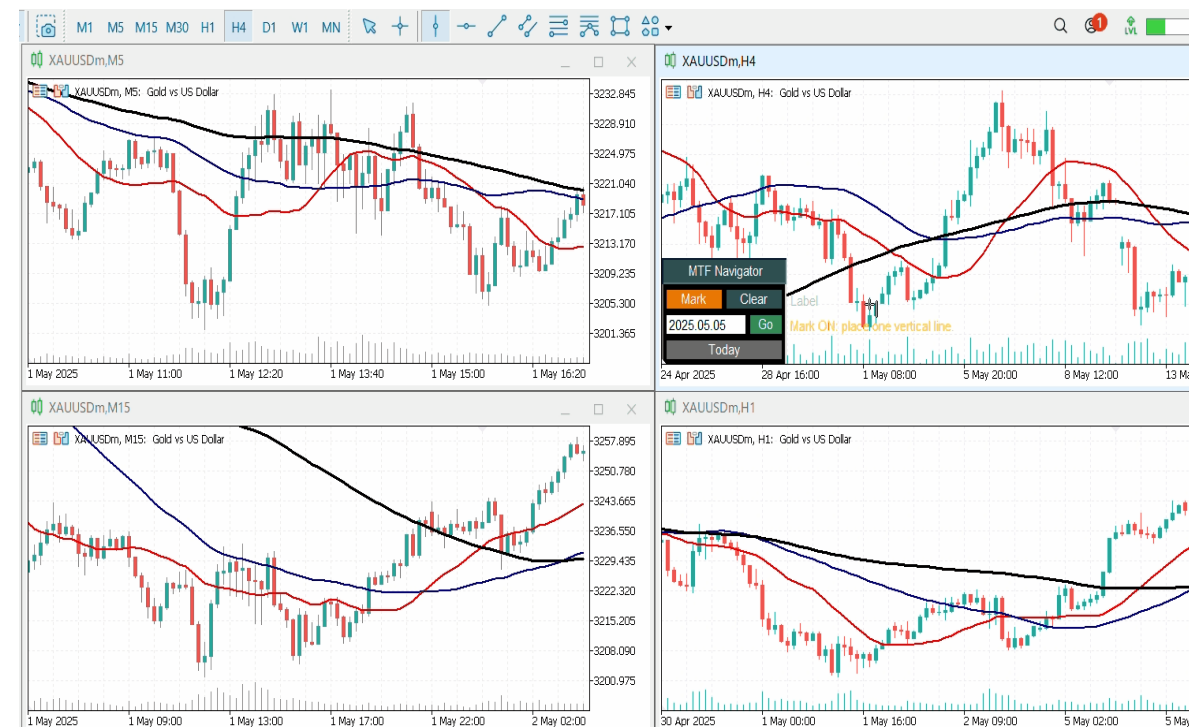
チャートが移動した直後、選択中の同期垂直線が3秒間強調表示されるため、探す必要がありません。

使い方

追加操作は不要です。チャート移動後に自動で強調表示されます。

設計目的

複数チャートを移動した後、目的の垂直線を探す時間を減らすための機能です。



JUMP THROUGH TIME.

チャートをスクロールすることなく、任意の取引日へ瞬時に移動できます。

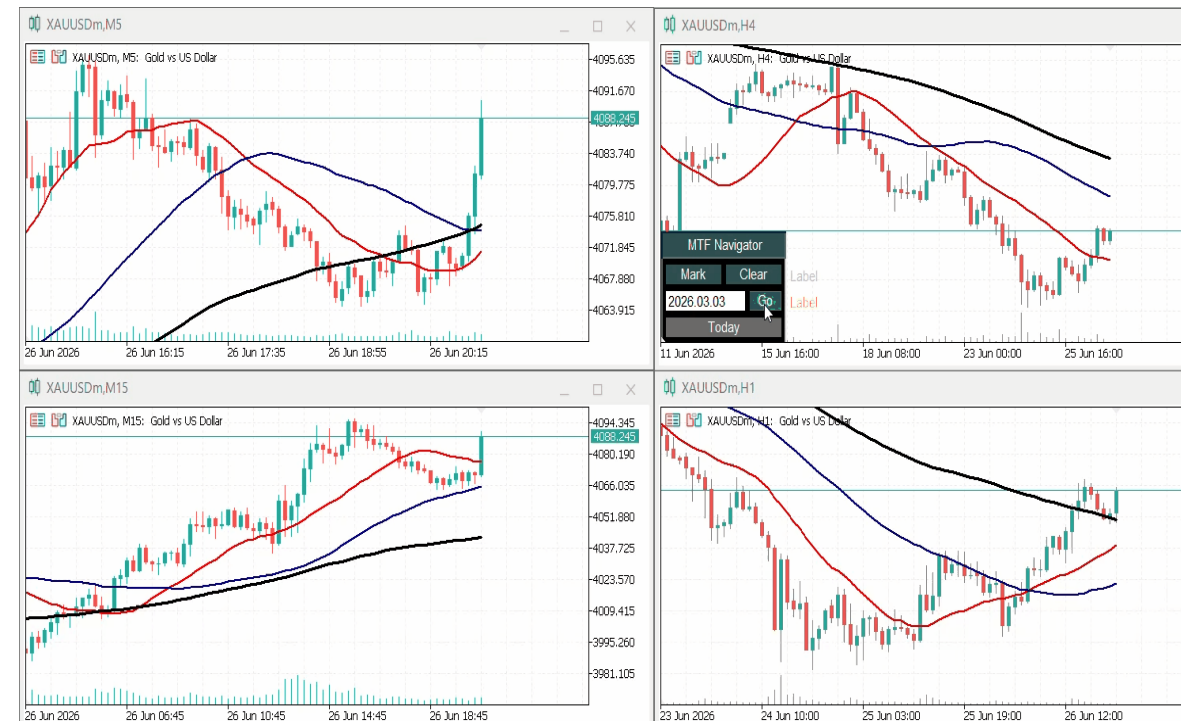
使い方

1. 確認したい日付を入力します。
2. GOをクリックします。
3. すべての同期チャートが指定日へ移動します。

補足

MetaTrader 5で日時を手入力する代わりに、MTF Time Navigatorでは日付だけを入力して、その日の00:00へ直接移動できます。

GOは、ブローカーのMT5チャート／サーバー時間を基準に00:00へ移動します。
PCのローカル時間やUTCは使用しません。



BACK TO NOW.

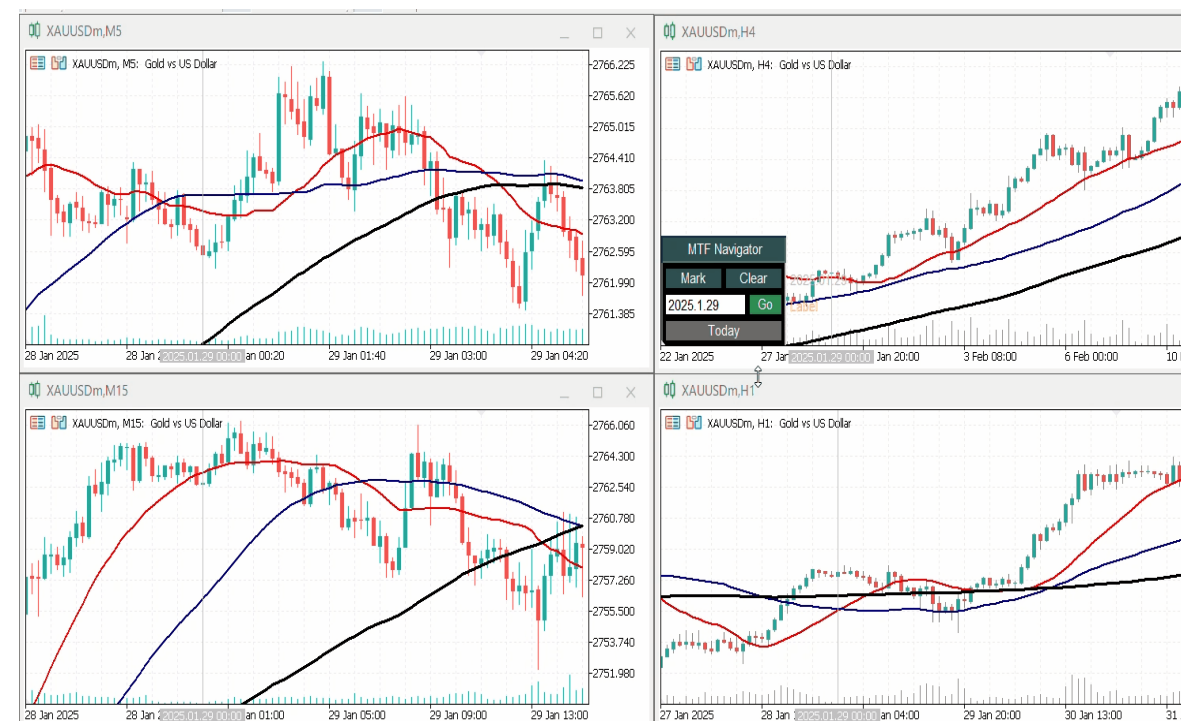
ワンクリックで利用可能な最新のローソク足へ瞬時に戻ることができます。

使い方

1. TODAYをクリックします。
2. すべての同期チャートが利用可能な最新のローソク足へ戻ります。
3. 最新のマーケットをすぐに確認できます。

補足

市場が休場中の場合、TODAYはブローカーが提供している最後のローソク足へ移動します。



CLEAR ALL MARKS.

すべての同期垂直線を削除し、チャートを見やすい状態に戻します。

使い方

1. CLEARをクリックします。
2. 同一通貨ペアで開いているサポート対象チャートから、すべての同期垂直線が削除されます。

重要

この操作はすべての同期垂直線を削除します。元に戻すことはできません。



最新パネルレイアウト

より見やすく、より分かりやすく — 基本操作はそのまま。

基本操作は変わりません

MARK、CLEAR、GO、TODAY、日付入力、前ページまでの説明と同じように使用できます。

同期日付をパネル上で確認できます

同期垂直線の日付を、パネル右側に直接表示できるようになりました。

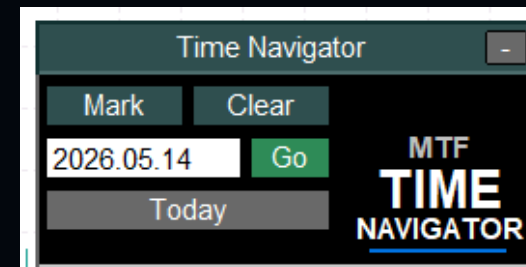
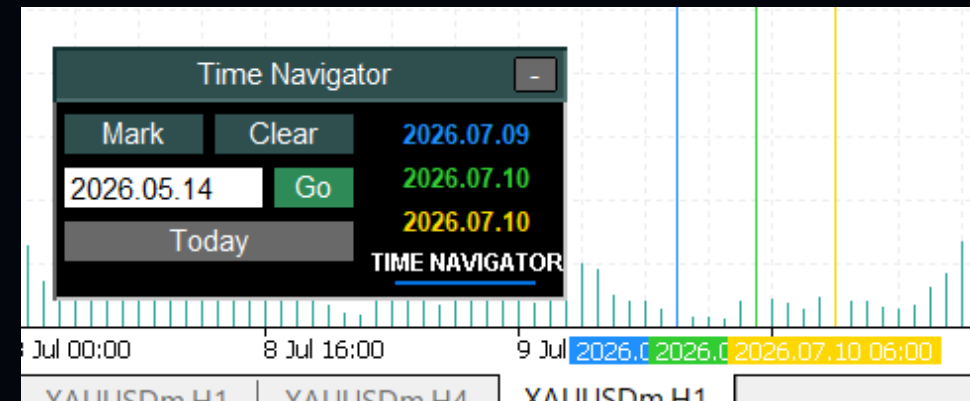
色分けで対応関係を確認しやすく

各日付は、対応する同期垂直線と同じ色で表示されるため、複数の日付を比較しやすくなります。

以前の画像も操作説明として有効です

本マニュアル内の一部画像では以前のパネルレイアウトが表示されている場合があります。基本操作は同じです。

最新パネル表示



最大3つの日付をパネル上に表示できます。
色は同期垂直線と対応しています。

パネルをコンパクトに保ちながら、検証ポイントを一目で識別しやすくするための設計です。

設定・重要事項

Standard Editionの仕様です。

対応時間足

主要なMT5時間足に対応しています。
対応時間足：M1 / M5 / M15 / M30 / H1 / H4 / D1 / W1 / MN1

非対応時間足

M2・M3・M4・M6・M10・M12・M20・H2・H3・H6・H8・H12など、上記以外のMT5標準時間足はStandard Editionではサポート対象外です。

操作元チャート

MTF Time Navigatorは、インジケーターパネルを設置したチャートを操作元として使用してください。

1通貨ペア1インスタンス

Standard版では、1通貨ペアにつき1インスタンスで使用することを推奨します。

ヒストリカルデータ

利用できる過去データの範囲は、ご利用のブローカーが提供するヒストリカルデータに依存します。

同期範囲

同一通貨ペアで開いている、サポート対象のすべてのチャートを同期します。
Standard Editionでは、同期垂直線を同時に最大3本まで使用できます。



FAQ

よくある質問です。

Q1. 古い日付へ移動できないのはなぜですか？

移動できる日付は、ご利用のブローカーが提供しているヒストリカルデータの範囲に依存します。M15やM5などの下位足は、H4などの上位足より履歴が短い場合があります。詳しく知りたい場合は、ご利用のブローカーへお問い合わせください。

Q2. MARKが動作しません。

MARKをクリックしたあと、垂直線ツールを選択し、チャート上へ垂直線を配置してください。

Q3. GOがいつも00:00へ移動するのはなぜですか？

GOは、選択した取引日の開始時刻（00:00）へ移動するよう設計されています。開発者自身が、毎回時刻まで入力する手間を減らしたいと感じたことが、この仕様の理由です。

Q4. 同じ通貨ペアに複数インスタンスを使えますか？

Standard版では、1通貨ペアにつき1インスタンスで使用することを推奨します。同一通貨ペアへ複数適用した場合、同期競合や予期しない動作が発生する可能性があります。

サポート

製品情報とお問い合わせ先です。

製品情報

製品名：MTF Time Navigator Standard
対応プラットフォーム：MetaTrader 5
エディション：Standard Edition

サポート

ご質問やサポートが必要な場合は、MQL5の商品ページよりお問い合わせください。

アップデート

今後のアップデートでは、ユーザーからのフィードバックをもとに、新機能や改善を追加する予定です。

Thank You

MTF Time Navigatorをお選びいただき、ありがとうございます。
皆様のチャート検証が、より速く、よりシンプルで、より快適になることを願っています。

MTF
Time Navigator

トレーダーによる、トレーダーのためのツール。

免責事項

使用前に必ずご確認ください。

取引リスク

MTF Time Navigatorは、チャート移動・検証を支援するツールです。売買シグナル、投資助言、利益保証を提供するものではありません。

ユーザー責任

最終的な売買判断は必ずご自身で行ってください。すべての取引結果およびリスク管理は、ユーザーご自身の責任となります。

データとプラットフォーム

利用可能なヒストリカルデータ、ローソク足の表示、チャート挙動は、MetaTrader 5、ご利用のブローカー、口座環境によって異なる場合があります。

MTF Time Navigator User Manualをお読みいただき、ありがとうございます。